



特集 血液病センター

新センター長のご挨拶

2019年4月1日付けで血液内科部長として赴任致しました有馬靖佳です。私は西宮で中学、高校時代を過ごし、1986年に神戸大学医学部を卒業しました。東京都立駒込病院と京都市立病院で研修の後、京都大学第1内科(現在の血液腫瘍科)に入局しました。血液は血球成分と液体成分を併せると体の中で約1割を占める最大の「臓器」であり、全身を維持するという機能と共に、私の興味を誘った「免疫」を担う器官でもありました。大学院では、成人 T細胞白血病を発見され、Tリンパ球増殖因子であるインターロイキン2の受容体を初めて解明された故内山卓先生に師事し、このふたつを研究テ

マに選びました。内山先生は、実に素晴らしく尊敬できる医師であり、研究者であり、指導者でした。



血液病センター センター長 兼
血液内科 部長

有馬 靖佳

1993年に博士号を授与され、その後は大阪赤十字病院血液内科で12年間、北野病院血液内科で部長として14年間の勤務を経て、このたび神鋼記念病院に異動して参りました。大学を出てから出身地である神戸に戻って来るまでに33年という月日が流れ、「平成」全体と重なっているわけです。この間に1995年の阪神・淡路大震災を経験し、2011年には東日本大震災もあり、本当に忘れられぬ「平成」になってしまいました。

初期研修の東京都立駒込病院はがんと感染症が専門で、ちょうど感染症科で HIV 診療を開始し、血液内科で同種骨髄移植を開始したところでした。その際、血液内科で担当させて頂いた患者さまのおひとは、急性前骨髄性白血病に対する2年間の地固め・強化療法が終わるところでした。「駒込病院で完治する成人急性白血病の第一号になりそうだ」と当時の部長がおっしゃっていたことを、感慨深く思い出します。

ご存知のように現在では、急性骨髄性白血病は若年～中年ならば6-7割の率で完治が可能な疾患になっています。では何が成績の向上をもたらしたのでしょうか？ おそらく化学療法後の感染制御として、緑膿菌に

効く抗生剤や安全な抗真菌剤が創薬されたのが重要だったと思います。加えて同種(つまり他人からの)造血幹細胞移植です。我が国最初の非血縁骨髄移植が、骨髄バンクを介して行われたのが1993年です。2000年には他人からの末梢血幹細胞移植や臍帯血移植も保険適用になりました。1990年代までは患者さまの移植適応は55歳以下でしたが、その後前処置での免疫抑制を保ちつつ、造血抑制を軽減した移植が可能になりました。これがいわゆるミニ移植で、70歳くらいの方までは造血細胞移植を行って、白血病などの完治にトライすることが可能になりました。

とはいえ、新しい治療方法による利益を、安全かつ最適に患者さまに還元するためには、医療者にとっても低くないハードルが存在します。造血細胞移植に関しては、移植学会が各病院の移植経験数と学会発表・論文発表数などにハードルを設け、基準を全て満たした病院のみを「非血縁者間の造血幹細胞移植をできる診療科」として認可しています。神鋼記念病院も2008年に骨髄バンクの、2009年に臍帯血バンクの認定施設になっております。神戸市内では、神戸市立医療センター中央市民病院、神戸大学医学

部附属病院とともに日本造血細胞移植学会の3つの移植施設のうちのひとつが当院に当たります。19床のクリーンルームのうち、7床は移植用のクラス100という清浄度であり、同種移植を含めたほぼすべての血液内科診療を、自前でかつ適切に患者さまに提供できることが、当科の最大の強みだと考えております。血液内科医は全国的に不足しておりますが、京都大学血液腫瘍内科の全面的なサポートを得て、今後は充実した診療体制をご提供できるようになると思います。



さらに血液というのは、最も基礎実験にむいた臓器です。体外での培養や解析が、非常に容易だからです。一般の臨床病院であっても、基礎医学に基づいた研究マインドを持ち臨床研究に取り組むことによって、医学医療の発展に貢献することが可能になります。当院には、

その目的で2012年4月に総合医学研究センターが設立されました。各省の科学研究費の申請が可能であり、血液疾患研究所、膠原病リウマチ研究所、器官組織病態研究所に分かれています。小生は血液病センター長も兼務し、基礎研究も同時に発展させていきたいと考えております。具体的には、前高橋センター長が携わられていた先進医療である「網羅的迅速なウイルス解析」を継承しつつ、小生の専門である「日本人におけるNK細胞による抗腫瘍免疫」の研究を行って参りたいと考えております。

その一方で、長期入院が必要でありながら専門的な治療は要しない患者さまには、療養型病院への転院をお願いすることになるかとも思います。いずれにしても、地域医療を支えておられる先生方のお支えがあっての神鋼記念病院血液内科だと思っております。今後とも是非よろしくお願い申し上げます。



開業医探訪

Vol.45 たむら皮フ科クリニック



今回は、阪急御影駅北側すぐにあります「たむら皮フ科クリニック」を探訪致しました。

— 診療を開始されてどれくらいになりますか？

2008年5月に診療をスタート致しました。以前勤務していた病院の上司から御影駅前という立地を勧められたこともあって、この場所での開業を決めました。

— どのような患者さんが来院されますか？

地域住民の方々が来院されるのはもちろん、近くに小学校がありますのでトゲが刺さった等で受診される児童もおられます。また、美容診療も行っておりますので西宮や宝塚など遠方から来院される方もおられます。

— 診療にあたり心掛けていることは何ですか？

病状が悪化する前に来院して頂きたいのですが、患者さまの様々な事情で受診ができないケースが多々あると思います。決して怒ることなく、患者さまの話を伺いながら優しく接していくようにしています。また、体調を崩されて患者さまが来院されますので「博愛の精神」をモットーに診察しています。

— ひとこと

この周辺は病院が大変充実している地域であると感じています。クリニックでは、診察や治療可能な範囲に限られていますので、病状に応じて病院へ橋渡ししていくことが大切ですが、遠方に行くことなく患者さまが暮らしている地域のなかで完結できている場合が多いように思います。引き続き、地域完結型の医療を目指していきたいです。

たむら皮フ科クリニック

〒658-0065 神戸市東灘区御影山手1丁目4番9号
クリニックイムブル K3階
TEL: 078-858-0234

院長: 田村 真吾

| 診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 8:40~12:30 | ○ | ○ | ○ | / | ○ | ☆ | / |
| 16:00~19:00 | ○ | ○ | ○ | / | ○ | / | / |

☆: PM3:00まで

休診 木曜日、日曜日、祝日

時間のないあなたへ朗報!!!

「週末入院」しませんか？

入院中に体験できること(例)

- ①カロリー調整食を摂取できる。
- ②体組成測定ができる。
- ③教育用DVDを視聴できる。
- ④血糖変動検査(リブレプロ)・蓄尿検査ができる。
- ⑤自身の「糖尿病」と向き合うことができる。

糖尿病・代謝内科では、従来より約2週間の教育入院を実施しておりましたが、より症状の軽い方、糖尿病の初期の方、仕事などを理由になかなか入院できない方を対象に、土日を利用した3泊4日の「週末短期パス」(金曜日に入院して月曜日に退院する)を作成しました。対象の患者様がいらっしゃいましたら、御紹介の程、よろしくお願ひ致します。

神鋼記念病院 糖尿病・代謝内科

Information

第11回 医療講演会～最前線の診療～

日時 2019年5月23日(木) 18時00分～19時00分

演題 新旧オピオイドをどう使う？
新時代の幕開けと、変わらぬ基本の融合

演者 神鋼記念病院 緩和治療科 科長 山川 宣

会場 神鋼記念病院呼吸器センター・管理棟 5階
大会議室 (神戸市中央区脇浜町 1-4-47)

その他 日本医師会生涯教育講座 1単位申請しております。

お問合せ 神鋼記念会 総合医学研究センター
担当：兒山 TEL：078-261-6711

Medical News

2019年5月
Vol.143

Shinko Hospital

Contents

- 特集 血液病センター
新センター長のご挨拶
- 開業医探訪
- 新入職医師紹介 2019
- 週末入院のお知らせ
- インフォメーション

■神鋼記念病院理念

公益性を重んじ、質の高い医療を通して皆様に愛される病院を目指します。

■基本方針

1. 快適な医療環境と医療設備を整え、安全で質の高い医療を提供します。
2. 患者さんの人格や価値観を尊重し、プライバシーを守ることを約束します。
3. 断らない救急医療を目指し、地域社会の信頼と期待に応えます。
4. 地域の医療機関や行政との連携を密にし、切れ目のない医療サービスの提供に努めます。
5. 高い医療技術を持った人間性豊かなスタッフを育成します。

社会医療法人神鋼記念会
神鋼記念病院

〒651-0072 神戸市中央区脇浜町 1-4-47
TEL:078-261-6711 (代表)
FAX:078-261-6726
URL:<http://www.shinkohp.or.jp>
発行責任者：理事長 山本 正之
編集責任者：神鋼記念病院広報委員長 山神 和彦

講演会などの
詳しい情報はこちらから!!

<http://www.shinkohp.or.jp>